

NEWS!

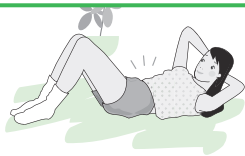
Vol.39-2
No.196
令和2年4月号
編集・発行
松浦機械製作所

新型コロナウイルス感染症に関する当社の対応

マツウラでは、日々、お客様の円滑な生産活動をサポートするために必要なセールス・サービス活動を実施しています。しかしながら新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、この度政府より発された「緊急事態宣言」が対象地域を全国に拡大し、5月6日までとすると正式に決定されました。それを受け、お客様、従業員とその家族への感染予防と感染拡大の防止を図るため、状況によっては一部のセールス・サービス対応に遅れが生じ、お客様にご不便をおかけする場合がございます。

現在の情勢を鑑み何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

日本のヘソ 福井 No.194



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第194回目は「絵本作家の加古里子（かこさとし）」の話です。かこ氏は大正15年に福井県越前市で生まれ、絵本作家として約600点以上の児童文学を発表され、平成30年に92歳で永眠されました。越前市にある『かこさとし ふるさと絵本館』では殆どの作品を大人から子供まで楽しめます。

かこ氏は、東京大学工学部応用化学科を卒業し民間企業に勤めていましたが、32歳のときに『だむのおじさんたち』で絵本作家としてデビューしました。科学技術に関する知識と確かな調査力が認めら

れ、多くの科学関連の絵本の企画が出版社から持ち込まれました。デビュー3年後に『かわ』が刊行されました。産経児童出版文化賞大賞も受賞したこの本は、河川を源流から河口、海まで描いた画期的な科学絵本です。その他にも『だるまちゃんシリーズ』など長く愛される作品があります。

かこ氏は「人間は嘘をついてはいけない。だから子どもには、嘘をつかない生き方、自ら考えて、自ら行動して、自ら発見する生き方をしてほしい」との願いを込めて作品を作り続け、生涯現役でした。私も『宇宙』を読みましたが、虫のノミから銀河系さらには大宇宙まで描かれていて大人でも十分気づきがある作品でした。是非一度手にとって読まれては如何でしょうか。

ユーザーを訪ねて

No.181

三研光機株式会社： 発想豊かな若いスタッフによる

今回のユーザーを訪ねては、JR高崎線・上尾駅から車で15分の距離にある三研光機株式会社取材いたしました。取材には堀越琢磨社長、瀬田博之工場長に対応頂きました。

同社は昭和37年に堀越社長の祖父が埼玉県さいたま市北区（旧大宮市）日進町にて創業しました。創業当初の事業は堀越螺子製作所として、ネジの製造から始まりました。その後、規模拡大に合わせて移転を行い、現在の所在地にて光学系機材の部品を中心とした高精度な部品を多品種少量生産にて製造しています。



▲工場全景

三人寄れば文殊の知恵:三研光機のなりたち

同社は昭和37年にそれまでの堀越螺子製作所という社名から、三研光機製作所という社名に変更、昭和44年に現在の三研光機株式会社に改組しました。現在の社名の由来は、当時会社の中核を担っていた堀越社長の祖父、父、叔父の3人で頑張って研究していこうという想いから、三研となりました。光機は光学部品が主力製品であったので社名に入れました。

現在の堀越社長は3代目となります。「跡を継ぐことを意識して前職の会社へ入社しました。27歳で三研光機に入社して製造現場で10年間モノづくりに携わりました。その後、社長職を任せられ、私が着任した直後から先代は一切経営や営業には関わらなくなりました。私は右も左もわからず、1つ1つ調べながらお客様など対応に当たっていたことを覚えています。話を聞くと、『先代がまだ現役で何をしても先代に相談しないといけない』というケースも多いようで、今となれば良い経験だったと思います。しかし、先代が助けてくれていたのだと思います」と堀越社長。堀越社長のご子息も平成31年4月に同社へ入社し、現在では旋盤加工業務を担当されています。

ねじの製造から光学部品製造へ

「当社はねじの生産からスタートし、光学部品を扱うきっかけになったのは、写真を現像するミニラボの部品生産でした。現在では、SF映画等で有名な映画監督も使用しているデジタルシネマカメラのズーム機構や筐体、映画を投影するような業務用プロジェクタ部品など、業務用光学部品が主要製品となっています」と堀越社長。

同社が生産する製品はその時代のトレンドを反映しており、3D映画が流行した影響で3D映像関連の受注が活況となり、またワールドカップで利用される4K映像関連の受注が多くなってきているようです。特に4K対応カメラは高い精度が求められるため、同社の技術力が活かされています。

多能工が会社の文化

同社はアルミ材料の加工が大半で、オペレータは段取りから加工まで実施しています。多能工として一貫生産している体制が高い精度の部品が生まれる理由の1つとなっています。「採用に関して、中途採用は必ずしも加工作業経験者とは限りません。未経験者は先入観やクセがなく、良いものができると感じています。当社ではOJTで各個人の力量を上げています。その際に重要なことは競争意識で、うまくなりたいう欲求を引き出しつつ、各個人の得意な部分を見出して伸ばすようにしています」と瀬田工場長。

「新卒採用については、当社の近くに埼玉県立中央高等技術専門校という学校があり、一昨年から学生のインターンシップを受け入れています。インターンシップを通じて毎年1名入社しており、昨年は汎用旋盤を



▲左から堀越社長、瀬田工場長、MX-330オペレーター

経験豊かな熟練工と

受注から組立までの一貫生産体制。

使える学生がインターンシップに参加し入社。現在では73歳の職人が付きっきりになって一緒に加工をしています」と堀越社長。同社では、熟練の技を持つ職人と若いスタッフがお互いを尊重し技術力を高めていることも社風の1つです。

5軸制御立形マシニングセンタMX-330 PC10を設備

同社は令和元年10月に10面パレットを有する**MX-330 PC10**を1台設備しました。

「当社では旋盤加工がメインでありましたが、お客様よりフライス盤設備が弱い、と指摘がありました。マシニングセンタ導入を検討し始め、精度が高いという点からマツウラのマシニングセンタに絞りました。中でも**MX-330**を選択した理由は、今後光学部品以外も生産できるように5軸機が必要であるとの判断でした。現在、**MX-330**では空圧部品を生産しておりほぼ100%で稼働しています。夜中も無人稼働しており、機体にネットワークカメラを取り付け、異常の際にスマホですぐ確認できる工夫もしています。平成8年には**GibbsCAM**を導入し、その後**GibbsCAM**に長けた人材が入社しました。このこともマツウラのマシニングセンタ設備を決めた理由です」

「この**MX-330**は、お客様に対して三研光機に依頼すれば、何でもできるというPRにもなると考えています。今後は、日中にオペレータが付いて高付加価値製品を生産し、夜間には量産品を生産できるような体制にしていこうとも計画しています」と堀越社長。

100年企業を目指す

「当社は51期目を迎えました。私の夢はこの会社を100年企業にすることです。同業の企業では、廃業し



▲MX-330 PC10

三研光機株式会社 概要

本 社 〒362-0052
埼玉県上尾市中新井404-16
TEL 048-725-0330
FAX 048-725-0331
役 員 代表取締役 堀越 琢磨
創 業 昭和40年10月
設 立 昭和44年7月
従 業 員 24名
事 業 内 容 光学部品、精密機器等の製造



▲同社で製造しているプロフェッショナル向け光学機器部品

ている企業も最近多くなりました。BCPに関する課題など解決すべきことは多くありますが、この会社を100年続く企業にする為に若い人を積極的に登用していき、熟練工には持っているモノを次の世代に引き継いでもらいたいと考えています」と堀越社長。

今後は一貫生産体制の強みを活かし、異業種の部品製造についても受注を取り込んでいきたいと今後の展望について堀越社長は語っていました。

工場を見学させて頂いた際、社員通用口近くの掲示板にはプロフェッショナル向けカメラレンズのカatalogが掲示されていました。掲示している理由について堀越社長に尋ねると、「社員自身が手掛けたモノが最終的に素晴らしい製品になっていることを社員に実感してもらうためです」と語っていました。ホームページにも掲載されている“せっかく「ものづくり」をしているのだから、自分たちで世の中に役立つものをつくろう”という想いが、掲示板からも溢れていました。

マツウラの平成時代30年間の工作機械技術を振り返る

日本工業大学工業技術博物館で3月に特別展「平成時代30年間のメーカー各社の工作機械製品・技術を振り返る」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。マツウラも出展を予定していたので本号で紹介いたします。4ページに説明文（抜粋）、5ページに平成元年～15年、6ページに平成16年～30年の開発史を掲載しています。

1. 高速加工 **FX series**

昭和60年のブラザ合意以降、日本経済は円高不況と日米貿易摩擦に見舞われ輸出規制を工作機械は強いられました。円高、貿易摩擦を超越できるマシンは何か。その答えが「高生産性を可能にする高速切削の加工技術」と考え、平成元年に超高速マシニングセンタ「**FX-5**」を開発しました。この開発では安川電機と共同開発を行い、高速巻線切替モータ搭載の主軸と高速高精度機能を実用化しました。高速巻線切替モータ搭載の主軸は、低速回転での重切削から、高速回転でのアルミ加工まで、オールマイティに対応可能で毎分2万回転の主軸です。

2. 高速高精度加工 **LX series**

FXシリーズの開発では高速技術を追求するとともに、高精度への取組を行っていました。しかし、通常の回転モータでのボールネジ駆動では応答性を高めるにも限界があり、結果、高精度化の追求に限界があると実感していました。そこで、超高速で高精度加工の実現の為に全軸にリニアモータを採用したリニアモータマシン「**LX-1**」を平成11年に開発。リニアモータ駆動に変えることにより軸送り機構の構造が簡素化でき、従来のボールネジ駆動と比べると応答性が格段に高くなりました。また全軸リニアモータの採用により、早送り毎分90m、最高加速度1.5Gを達成することが出来ました。

3. 多品種少量生産・無人化対応 **MAM72 series**

平成3年にマツウラの新企業理念「ひと 地球 そしてテクノロジー」を制定。これは、人間本位、真のグローバル化、個性派という当社の企業理念を表現した言葉です。人を第一に、国際化と同時に地球レベルでモノづくりを考える企業を目指し、その夢を実現するのは技術（テクノロジー）である、という意味を込めています。その第一弾の製品として、スーパー小形加工セルシステム・5軸制御立形マシニングセンタ「**MAM72-1**」を平成3年に開発、平成4年には改良を加えた「**MAM72-1S**」を開発しました。平成の時代に入り、日本の製造業では3K対策（きつい、汚い、危険）や年間総労働時間の規制・年間時間外労働時間の削減など労働条件の見直しが図られていました。「**MAM72-1S**」は、これらの課題を解決すべく、一回の段取りで総ての加工が可能な5軸加工、また、週休2日制が定着してきた時代背景を受け、土日にも無人で運転可能な仕様を標準装備しました。

4. 複合化 **CUBLEX series**

MAM72シリーズの開発当初より、5軸を高速回転し旋削加工付加の要求がありましたが、早急には実現出来ませんでした。しかし、平成18年に5軸マシニングセンタに旋削・研削機能を付加した5軸複合マシニングセンタ「**CUBLEX-25**」を開発しました。5軸制御マシニングセンタをベースとすることで、従来の旋盤ベースの複合加工機に比べマシニングセンタの性能を100%維持しているので、より高剛性で、且つ高速・高精度加工が行え、無人化対応のために工具本数、パレット枚数の拡張が可能となりました。また主軸と円テーブルを同時に回転することで研削も行え、マシニング機能、旋削機能と合わせて3つの機能を一台に集約した新しい複合加工機による工程集約を実現しました。

5. 安心・簡単5軸加工 **MX series**

平成3年の開発以降5軸制御立形マシニングセンタ**MAM72**シリーズを拡充してきました。**MAM72**シリーズで培った5軸機のノウハウを継承しつつ、機能を厳選することで高いコストパフォーマンスを実現した5軸制御立形マシニングセンタ「**MX-520**」を平成22年に開発しました。初めて5軸機を導入するお客様にも「安心」・「簡単」をキーワードに5軸加工が出来るような、様々なサポート機能を標準装備しています。

6. ハイブリッド金属3Dプリンタ **LUMEX series**

平成12年に福井県が地域結集型共同研究事業（国立研究開発法人科学技術振興機構の管轄）「光ビームによる機能性材料加工創成技術開発」がスタートし、マツウラもこの事業に参画することで本格的にレーザの研究を行いました。そして、レーザを利用し、金型の製作時間を従来の1/3に短縮できる新しい金型製造装置として、ハイブリッド金属3Dプリンタ「**M-PHOTON 25Y**」を平成14年に開発しました。「**M-PHOTON 25Y**」はレーザでの金属粉末焼結による造形と高速切削加工の一体化により、一工程で金型製造を完了する革新的なマシンで世界初の開発となりました。

平成16年に第2世代「**LUMEX 25C**」を開発、販売を開始しました。このマシンは、大出力タイプのCO2レーザ（500W）を標準設定し造形時間を40%短縮しました。平成18年には第3世代（200WYbファイバーレーザ搭載）、第4世代（400WYbファイバーレーザ搭載）「**LUMEX Avance-25**」を開発し、平成28年に最大工作物寸法600X600X500の「**LUMEX Avance-60**」を開発しました。これからもハイブリッド金属3Dプリンタによる全く新しいモノづくりを提案し続けます。

Looking back on 30 years

平成時代30年間の工作機械技術を振り返る
(平成元年～15年)

高速加工 FX series

高速高精度 LX series

多品種少量生産 無人化対応 MAM72 series

ハイブリッド 金属3Dプリンタ LUMEX series

1989年

[平成元年]



FX-5

20,000回転 (JIS#40) 主軸搭載エンドミル加工
1,000cc/min以上の切削能力

1990年

[平成2年]



FX-10

20,000回転 (JIS#40) 主軸
搭載航空機大型ワークに
対応
2,040/1,020/400mm能力

1991年

[平成3年]



FXH-45

20,000回転 (JIS#40) 主軸搭載

1992年

[平成4年]



1993年

[平成5年]



1994年

[平成6年]



FX-1

30,000回転 (JIS#30) 主軸
搭載小型精密金型
直削り

1995年

[平成7年]



FXH-90

1996年

[平成8年]



FXH-70

20,000回転 (JIS#40)
主軸搭載

1997年

[平成9年]



FX-5G

27,000回転 (JIS#40) 主軸
搭載早送り50m/min
全軸リニアモータ駆動
60,000回転軸搭載
早送り90m/min、加工時間1/3

1998年

[平成10年]



LX-1
(JIMTOF1998)

1999年

[平成11年]



LX-1



MAM72-3VS

5軸+マルチパレットシステム(40枚)
72時間無人運転・日替わりメニュー対応
最大ワークサイズD300mm

2000年

[平成12年]



LX-1

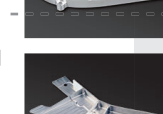


MAM72-35V

5軸+マルチパレットシステム(32枚)
最大ワークサイズD350mm

2001年

[平成13年]



LX-0

全軸リニアモータ駆動
40,000回転軸搭載、
コンパクト

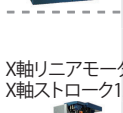


MAM72-3VM

世界初の
ハイブリッド金属
3Dプリンタ(JIMTOF2002出展)

2002年

[平成14年]



LX-1500

X軸リニアモータ駆動
X軸ストローク1500mm



MAM72-63V

大型5軸機(最大ワークサイズD630mm)
マルチパレットシステム(2/6/18枚)



M-PHOTON 25Y
(JIMTOF2002)

2003年

[平成15年]



LX-1500



MAM72-63V

超高速&高精度への挑戦
全軸リニアモータ駆動

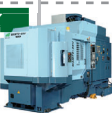
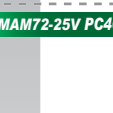
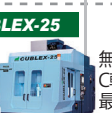
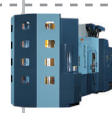
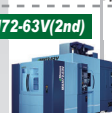
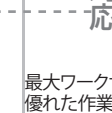
5軸+マルチパレットシステム
長時間無人運転 変種変量生産対応、5軸専用機

ハイブリッド金属3Dプリンタ(金属光造形+高速切削)

従来比3倍以上の加工能力
高速加工のパイオニア 高速主軸搭載

Looking back on 30 years

平成時代30年間の工作機械技術を振り返る
(平成16年～30年)

	高速高精度 LX series	多品種少量生産 無人化対応 MAM72 series	複合化 CUBLEX series	安心・簡単 5 軸 MX series	ハイブリッド 金属 3D プリンタ LUMEX series
2004 年 [平成 16 年]					
2005 年 [平成 17 年]	全軸リニアモータ駆動 +DDモータ駆動 4/5軸テーブル搭載、超高速5軸加工			無人化+5軸化+複合化 C軸(回転軸)3,000回転 最大ワークサイズD250mm	ハイブリッド3Dプリンタ第2世代 500W CO2レーザー搭載
2006 年 [平成 18 年]	中型5軸機 (最大ワークサイズD420mm) マルチパレットシステム (5/24枚)				
2007 年 [平成 19 年]				はじめてでも「安心」「簡単」 5軸マシニングセンタ シンプルオートメーション 簡単無人化・自動化対応	ハイブリッド3Dプリンタ第3/4世代 400W/500Wファイバーレーザー搭載
2008 年 [平成 20 年]					
2009 年 [平成 21 年]		性能を徹底的に見直し、第2世代、 最大ワークサイズD630mm			
2010 年 [平成 22 年]			大型複合加工機 最大ワークサイズD630mm C軸(回転数)1,300回転		
2011 年 [平成 23 年]		最大ワークサイズD1,000mm 4/5軸DDモータ駆動 マルチパレットシステム(6枚)	マシニングセンタベース の複合加工機 3つの機能を 1軸マシニング+旋削+研削 を1台に集約	安心・簡単5軸、5軸の入門機 最大ワークサイズD520mm	
2012 年 [平成 24 年]		超精密5軸加工 46,000回転主軸搭載 高速と高精度を高い次元で両立			
2013 年 [平成 25 年]		高機能化、 4/5軸DDモータ駆動 マルチパレットシステム(2/32/40枚)			
2014 年 [平成 26 年]				安心・簡単5軸、大型5軸機 最大ワークサイズD850mm	
2015 年 [平成 27 年]	超高速&高精度への挑戦 全軸リニアモータ駆動	長時間無人運転 変種変量生産対応	最大ワークサイズ D350mm C軸(回転数)3,000回転		
2016 年 [平成 28 年]			安心・簡単5軸、小型5軸機 最大ワークサイズD330mm		大型ハイブリッド金属3Dプリンタ 最大工作物寸法600X600X500mm 1kWファイバーレーザー搭載 APRシステム標準
2017 年 [平成 29 年]			シンプルオートメーション 簡単自動化・無人化		
2018 年 [平成 30 年]		最大ワークサイズD700mm 優れた作業性・操作性、IoT対応			ハイブリッド金属3Dプリンタ 第5世代 高速対応、APRシステム対応

福井発NHKドラマ「シューカツ屋」の撮影地となりました

2月26日（水）BSプレミアムにて、ドラマ「シューカツ屋」が放送されました。ドラマの一部シーン撮影の為、当社工場内部と**LUMEX Avance-60**が利用されました。ドラマの内容は、国立大学中12年連続就職率トップの福井大学を舞台とし、主演女優の水川あさみさん演じる就活支援員が就職活動に悩む学生たちを支えるコメディードラマです。当社は福井県内の3D機械メーカーとして就職活動中の学生が企業見学に訪れるシーンにて登場しました。当社の社員もエキストラとして参加し、非常に貴重な体験をさせて頂きました。

当ドラマは動画配信サービスNHKオンデマンドにて視聴することができます（要有料登録）。



▲ドラマ撮影風景

シングルorダブル 新型コロナウイルス



社長 松浦 勝俊

中国武漢から端を発した新型コロナウイルスの感染は、2月中旬くらい迄は彼の地の話だなあと眺めていたら、欧州イタリアに飛び火した後はあっという間に全世界に広がりパンデミックと化し、第2四半期に入った現時点で全く終息する先が見えない未曾有の状況になっています。これにより昨年の4月1日時点と比べると「こうも変わるか」というくらい世界規模での社会・経済情勢が激変しています。それ以前には米中貿易戦争やBREXIT、大型台風の自然災害が多数発生したりともう「予期せぬことが起こる」のが普通になったと感じていました。ですので、年初に今年は市場動向に方向感が無く揺らぎの大きな状態だと申しましたが、まさかここまでの苦況に陥るとは予想だにしませんでした。

ウイルスが猛威を振るったと言え、少し前にSARSや新型インフルエンザがありますが、歴史的には百年周期でペスト、コレラ、スペイン風邪と疫病の世界的な流行が起きています。

約100年前のスペイン風邪では、一説によると当時の世界人口の3分の1の約5億人が感染し、死亡者は5,000万人だったと言われています。この日本でも当時の人口が5,500万人で内38万人の方が亡くなられたそうです。スペイン風邪は、新種のインフルエンザウイルスで新型コロナウイルスとは種類が違いますが、「人類が免疫を持たず特効薬やワクチンがない病気」という点では、昔も今も全く同じです。今のところ新型コロナウイルスに対し現代の医療も対処療法しか手がなく、感染者が爆発的に増加した国々の状況は悲惨でとても見てられません。正に早急な治療薬・ワクチンの開発が待たれるところです。勿論景気動向も大事ですが、まずは日々各自が免疫力の高い状態に保つよう心掛けることが重要です。

歴史的に見ても、定期的に警鐘を鳴らすように人間に襲いかかってくる未知のウイルスと戦うことは、人類にとって避けられない試練と言えます。千百年程前に日本各地に疫病が流行った時に厄払いを祈願して始まった夏の風物詩、京都の祇園祭の頃には、落ち着いた状況にと心から願う次第です。

お知らせ

1 辞令発令(3月21日付)

氏 名	発 令 事 項	氏 名	発 令 事 項
松本 彰市	品質本部 カスタマーサポート シニアマネージャー	松山 英治	品質本部 カスタマーサポート シニアチーフ
笠川 保	生産本部 第一組立 シニアマネージャー	戸田 美千香	経営企画室 管理 シニアチーフ
加納 佳明	営業本部 LUMEX販売 マネージャー	渡邊 貴士	生産本部 第一組立 シニアチーフ
安丸 義裕	品質本部 品質保証 シニアチーフ	吉村 大弥	技術本部 商品設計 シニアチーフ
栄 幸一	品質本部付 シニアチーフ 兼	高桑 浩亮	技術本部 MC開発研究 シニアチーフ
	マツウラサーティファイドエンジニア MEG出向	林 明宏	生産本部 第二組立 シニアチーフ
(4月1日付)			
松浦 悠人	経営企画室 副室長兼 技術本部 営業技術 マネージャー		

尚、技術本部 開発研究は、技術本部 MC開発研究

技術本部 AMテクノロジーは、技術本部 AM開発研究 と改めます。

2 「マツウライノベーションフェア」開催延期のお知らせ

この度、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、お客様の健康と安全を第一に考え、4月15日(水)から16日(木)に本社工場にて開催を予定しておりました「マツウライノベーションフェア」の開催延期を決定いたしました。

来場を予定されておりましたお客様・関係各位には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【延期】マツウライノベーションフェア

2020/4/15(水)-4/16(木) ⇒ 【新】2020/10/21(水)-10/22(木)

開催概要については、当社Webサイトで随時更新していきます。

3 福井のアマチュアサッカーチーム「福井ユナイテッドFC」のオフィシャル・クラブ・パートナーに

マツウラは、「サウルコス福井」の時から7年目となりますが、今年も「福井ユナイテッドFC」を応援いたします。ユニフォームの背中にマツウラのロゴが入り、またホームゲームではピッチ看板が設置されます。14番石塚功志選手は、引き続きマツウラで就業しています。今年のチームは、監督が寺峰輝氏に代わり、また9人の新加入を含めた22名の選手で、今年こそ絶対JFL昇格を目標に戦います。また、今年は8月23日(日)の'05加茂FC戦は福井県運動公園の9.98スタジアムで行なわれますので、是非スタジアムでの応援をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、前期全7試合が中止となりました。

節	試合日	開催地	試 合 会 場	キックオフ	対戦チーム
8	7/19(日)	新潟県	新潟聖籠スポーツセンター	11:00	新潟医療福祉大FC
9	8/23(日)	福井県	9.98スタジアム	16:00	'05加茂FC
10	8/30(日)	石川県	北陸大学フットボールパーク	10:30	FC北陸
11	9/06(日)	福井県	テクノポート福井スタジアム	17:00	坂井フェニックス
12	9/13(日)	福井県	岩瀬スポーツ公園	13:00	富山新庄クラブ
13	9/20(日)	福井県	テクノポート福井スタジアム	13:00	JAPAN.S.C
14	9/27(日)	福井県	テクノポート福井スタジアム	13:30	アルティスタ浅間



▲ホームゲーム用

本号の書き終わり

* 日本工作機械工業会から3月度の受注状況速報が発表されました。期末効果と新型コロナウイルス感染拡大の影響により3月度の工作機械受注額は前月比0.2%増の773億円ですが、2ヶ月連続で800億円割れとなりました。3月で800億円割れは、2010年以来10年

ぶりとなります。内需は342億円と前月比7.0%増で、2ヶ月連続で300億円台を超えました。期末による押し上げ効果で一定の増加は見られました。外需は431億円と前月比4.7%減でした。3月の500億円割れは、2009年以来11年ぶりで、3月に前月比減少するのは25年ぶりのことです。

* 本号で「マツウラの平成時代30年間

の工作機械技術を振り返る」を掲載しました。年表から「世の中にないモノを作る」との理念の実現に向けての技術開発を再認識しました。4月1日に20人の新入社員がメンバーに加わり、マツウラの新しい歴史の一步を共に歩み出しました。マツウラの令和時代を担う人材に期待したいと思います。

経営企画室 上村 誠